

嚶鳴同窓会活動報告 令和4年度前半

令和4年度 山形西高等学校入学式 4月8日(金)

小笠原会長が嚶鳴同窓会代表として出席しました。200名の新入生を迎える入学式は、入学許可に続いて、校長先生の式辞、新入生代表の誓詞、西高音楽部による校歌紹介が粛々と執り行われました。

令和4年度 嚶鳴同窓会第1回評議員会 5月11日(水)

第1回評議員会ということで、評議員の委嘱、評議員自己紹介、校内理事の先生方の役割分担等が提示されました。その後、「令和3年度会計決算報告・監査報告」「令和4年度予算案」「令和3年度各委員会活動報告」「令和4年度同窓会行事予定」等について協議および報告が行われました。コロナ感染予防のために、活動が縮小された令和3年度でしたが、「令和4年度こそは!」と評議員の皆様から多くの意見が出され、今後の活動の方向性を確認しました。

嚶鳴同窓会 感謝状贈呈式 5月11日(水) 評議員会終了後

7年間の長きにわたり嚶鳴同窓会三役を務められました、鈴木よし子前会長、青木智子前副会長、奥山潤子前副会長への感謝状贈呈式を行いました。

平成27年の就任以来、数々の改革を行い、さらに、コロナ禍での活動の在り方を模索し、嚶鳴同窓会の確固としたあり方を示され、実行していただきました。

ご挨拶では、7年間の印象に残った出来事や同窓会への思いが語られ、あらためて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

令和4年度 第1回学校評議員会及び学校関係者評価委員会 6月9日(木)

齊藤同窓会副会長が学校評議員として会議に出席しました。(例年、同窓会副会長1名が代表として「山形西高等学校学校評議員、学校関係者評価委員」に委嘱されています。)

始めに片桐校長先生から「学びの質の変化」として、新学習指導要領や民放の改正に伴う18歳成年等が、西高生にどのように関係してくるかについてお話がありました。

その後、「教育目標」「高校総体の成績」「校友会活動方針」等の報告及び質疑、意見交換が行われました。

創立124周年記念式典 校内合唱コンクール 6月22日(水) やまぎん県民ホール

同窓会三役が来賓として出席しました。式典では、小笠原会長が在学時代の演劇部のエピソードを交え、「夢の実現のために、先輩方の活躍を参考にしてほしい。」と来賓祝辞を述べられました。

式典後の第64回校内合唱コンクールでは、各クラスの歌声がホール全体に響き、クラスごとのまとまりや在校生の凛とした佇まいに魅了されました。コロナ禍での制限があり、練習の苦労ももたされました。

閉会行事の成績発表の後に、表彰の一つとして「嚶鳴同窓会杯」を会長がクラス代表生徒に手渡しました。



嚶鳴同窓会館 資料室視察 6月28日(火) 西高敷地内

後援活動委員会の提案で、資料室の現状を把握するために同窓会館資料室を視察しました。中はきちんと整理整頓され、貴重な資料や写真を見ることができました。機会がなければなかなか見ることができない内容ですので、ホームページ内で紹介していきます。



NO.1 シートマイヤーのピアノ

このピアノは、本校創立25周年を記念し、嚶鳴同窓会から昭和2年(1927年)に寄付されたもので、ピアノ製造で世界の名門と評価の高いドイツのシートマイヤー家が、手作りで丁寧に仕上げた希少価値の高い逸品である。昭和19年(1944年)、香澄町(現県保健所・市民会館の敷地)にあった山形第一高等女学校本校舎(現西高の前身)が全焼する大火に見舞われたが、その折駆け付けた本校関係者が、燃えさかる炎の中、この重いピアノを運び出した。脚の中の1脚は、この時損傷したものである。運び出されたピアノは、側板の焼け焦げや全体を覆う煤等で痛ましい姿であったが、このピアノに対する関係者の並々ならぬ思いが天に通じたのか、ピアノの心臓部ともいわれている弦、響板鉄骨、木骨、アクション、鍵盤などはしっかり保持されていた。

かくて、香澄町校舎から現鉄砲町校舎に移転され、平成9年(1997年)の現第一校舎音楽教室完成までの70年余年にわたり、重宝され続けた。その間、他に比類のない美しい音色を学び舎に響かせていたのである。

関係卒業生にとっては、このピアノは懐かしく、忘れ得ない昔の思い出であろう。

同時に、往時の残り少ない「教育資料」の一つである。(説明書より)

会館入り口に置かれているシートマイヤーのピアノ



第61回 山形西高等学校合唱団定期演奏会 7月25日(月)

西高音楽部からのご招待をいただき、同窓会会長・副会長、後援活動委員が演奏会に出席しました。1年生から3年生までの部員数が20名という、これまでで最も少ないメンバーでの発表会でしたが、校歌を皮切りに、クラシックから現代音楽までを、透き通った歌声で披露してくださいました。コロナ禍の2年間は開催出来なかったため、3年生は最初で最後の定期演奏会になったとのこと。素晴らしい歌声に心を打たれました。

令和4年度 嚶鳴同窓会第2回評議員会 8月8日(月)

「令和4年度予算についての最終確認」「令和4年度同窓会についての中間報告」「今後の総会の持ち方」「規約改正について」「各委員会の在り方検討について」「ホームページ活用について」等の報告及び協議を行いました。

コロナ禍の二年間は、同窓会総会中止や規模を縮小した形での同窓会総会等、全ての活動が停止に追い込まれました。今後、どのような形で同窓会活動や同窓会総会を行っていくかが、大きな課題となっています。

第2回評議員会では、迫られている大きな課題への取り組み方について活発な意見交換が行われました。

令和4年度 嚶鳴祭見学 8月26日(金) 市民会館 27日(土) 一般公開

スローガン「Plus Ultra!」

1日目

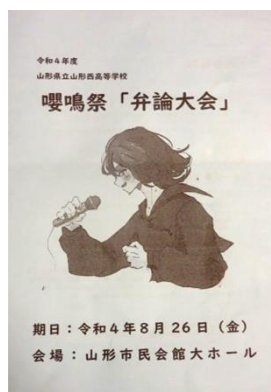
- ・弁論大会・放送部発表
- ・音楽部発表・箏曲部発表

2日目

一般公開 ・クラス企画・部活企画

「Plus Ultra!」は「さらなる前進」

「昨年度より全てにおいてレベルアップさせ、全員が協力して嚶鳴祭を作り上げ友情やクラスの団結にもつなげて欲しい」というスローガン通り、素晴らしい発表や企画を見ることができた感動の二日間でした。



文責 嚶鳴同窓会副会長 齊藤明美